

- ガラス製品には特に注意しますよう
- 「家族と避難先、連絡方法を相談しておく」
- 老人や子供のいる家庭では、特に地震の際の避難方法などを家族で話し合つておきましょう。
- 一時集合場所、避難場所までは歩いてみることが必要です（一時集合場所は箱崎公園、避難場所は新川ツインビル）
- 【隣近所と相談しておく】
- ふだんから隣近所の人と
- ・地震が起きたら、異常の有無について声をかけ合う。
- ・消防活動や、避難のときの協力について話し合つておくことが大切です。
- 【地域活動に進んで参加しよう】
- 防災市民組織の活動に参加し、お互いに協力し助けあつていきましょう。
- 【すばやく火を消す】
- ガスの元栓を忘れずにしめましょう。
- 火が出た場合、消火器や毛布などですばやく消しましよう。
- 【あわてて外に出ない】
- 火が出た場合、隣近所で助け合い消火に全力をつくしましょう。
- どんな大きな地震でも大揺れは一分程度です。まず落ちついで行動することが大切。

平成七年一月十七日午前五時四六分、兵庫県を中心とした地震は、死者五〇〇〇人以上、家屋の倒壊・多数等大被害が発生しました。過密都市“東京”

今、大地震が発生したらあなたはどのように行動しますか？

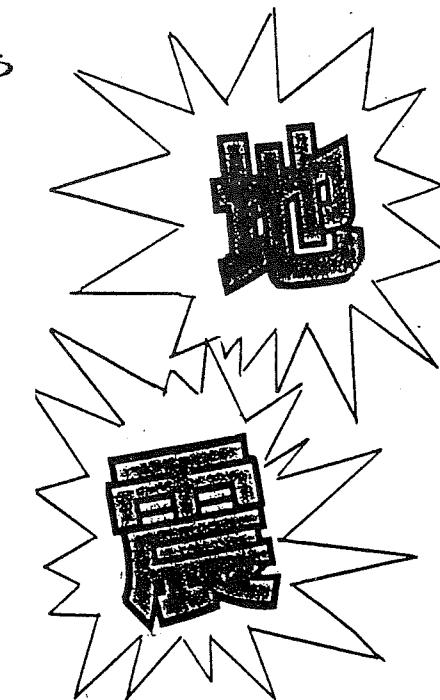
以下、「地震に対するふだんの心構え」について、要點をまとめました。

あなたや家族のみなさんの安全のため、役立てていただければ幸いです。

○「家庭からケガ人を出さないために」

家具が倒れたり、棚のものが落ちないよう金具等で取り付けたり、整理しておきまし

地震だ、その時あなたは？



箱崎環境対策協議会

第14号

中央区日本橋  
箱崎町34の8  
電話 3667-5667

- 【デマにまどわされない】
    - 大地震が発生すると不安や混乱で、いろいろなうわさが乱れ飛びます。例えば、たんなる「余震情報」を「四時間後に地震が起きる」等というデマに発展しパニックをひきおこしました。テレビ・ラジオや警察など公共機関からの正しい情報を聞くようにしましょう。
    - 【自動車を運転中、地震にあつたら】
      - 自動車の運転をやめましょう。
      - 右側に寄せてエンジンを止めましょう。
      - 駐車場、空地がある場合はそこに入れましょう。
      - 避難する時は、火災を引き込まないよう窓をしめ、エンジンキーはつけたまま地域の人々と行動をともにしましよう。
      - 道路の中央部は、避難者や緊急自動車が通行出来るようにはけておきましょう。
      - 自動車で避難することはやめましょう。
      - 現場の警察官の指示に従つて行動しましょう。
    - 【地下鉄等、乗物の中では】
      - 不用意に車外に飛び出さないようにします。
      - 車内では固定されているものにしつかりつかまりましょう。
      - 【マンション等、高層ビルでは】
        - すばやく火の始末をし、ドアを開けましょう。
    - エレベーターは使わないようになります。
    - 【震災時の交通規則をよく知つておこう】
      - 大地震が発生した直後は、次の道路が一般車両の通行が禁止になります。
      - 環状七号線と第二京浜国道を結ぶ内側（都心部）のすべての道路。
      - 中原街道、目黒通り、川越街道、中山道、水戸街道、蔵前橋通り、京葉道路は都県境まで。
      - 首都高速道路全線。
      - 隣接県から都内に入る車両。
    - 【避難する場合は集団で】
      - 大地震が発生した場合は、早めに避難の準備をしましよう。
      - 警察官やリーダーの指示に従い、集団で避難しましよう。
      - 避難は徒歩で、荷物は最小限にしましょう。

## 大地震の教訓

一月十七日午前五時四十六分、淡路島北端を震源地とするマグニチュード7、2の大地震は、大都市直下型地震として兵庫県を中心に戦後最大の惨事をもたらした。この震災による鉄筋ビルの倒壊、ライフライアンの破壊寸断等は、耐震神話を崩壊させるとともに、都市防災機能の脆さを露呈させる結果となりました。

そして、大都市東京に住む私たちにとつてまさに「他人事ではない」という、従来の地震に対する認識を大幅に変える衝撃的な出来事になつたのです。

以下、この震災に遭遇した警察官、救助活動に当つた警察官並びに被災された方々の証言を紹介します。



卷之三

『避難先を必ず確認』『相互扶助精神が大切』  
『備えあれば憂いなし』

- 平素から準備していくて役に立つたもの
  - ・非常用備蓄食料（三日分位）・寝袋
  - ・ウエットティッシュ・風邪薬等の常備薬
  - 地震が発生したら直ちに「火（灯）」を消す。
  - 土砂崩れ現場では、地震後、土砂に埋まつた倒壊家屋で二時間位して、充満していたと思われるプロパンガスが爆発し、家屋は焼失、下敷きになつた人は焼死した。
  - 地震発生時、スチール製机（机の脚はくの字に折れた）の下に潜つた人は全員無事であつた。（机の下には物を置かないで、身を隠すスペースを確保する。）
  - こたつ、プラスチック製衣装ケース、ビール瓶ケースは家屋が倒壊しても壊れておらず、上からの落下にある程度強く、寝ていて助かつた人もいた。
  - 木造家屋の場合、一階は重みで潰れており二階の方が多く助かつてゐる。また、鉄筋建ての方は途中階が潰れており、鐵骨建ての方が丈夫である。



○ コンクリートの柱や梁の下敷きとなつて亡くなつている人が多く、少しづれていれば助かつていたとも思われた。

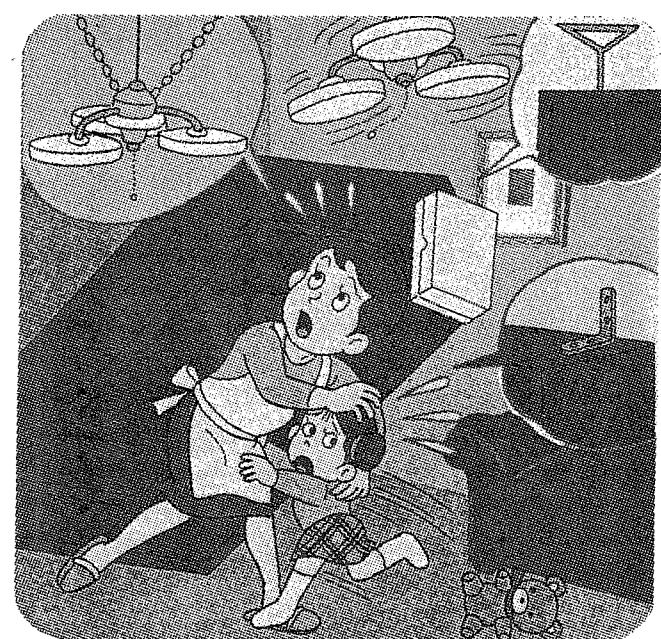
○ 倒壊家屋では柱や梁の下敷きとなつている人もいたので、簡易のジャッキを備えてお近くと近隣同士で早めに助けられたかもしない。

○ 道路陥没、家屋、電柱等の倒壊等による道路寸断、バス・鉄道網の途絶による車両利用の増加や放置・駐車車両等により、主要道路は大渋滞となり、救助部隊の派遣等緊急車両の通行ができない、あるいは大幅に遅延するような状態であつた。駐車車両等は駐車場、空き地に移動すべきである。

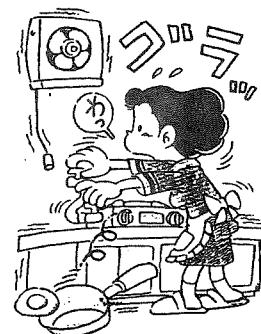
○ 倒壊、焼失家屋跡地に安否情報として、無事に避難している旨の「はり紙」をするご行方不明者の確認に役立つたので、町会ごとに掲出なども効果的と思われる。

○ 集合住宅の場合は、避難通路にあたるベランダや廊下などに、物置やだんボール箱等を放置しないよう日頃からの点検整備が必要である。

○ 震災後、住民は自分の手当ができるないの行政機関の所在と電話番号等の周知徹底策が重要である。



**テープルなどの下に  
身をふせよ**



### 火の始末

東海沖の地震は千年、千五百年間隔で起つております。一、八五四年（安政地震）以来、現在（平成六年）までの百四十年間この地域のエネルギーは破壊されないまま残つてることから近く東海地震が発生しても、不思議ではないといわれています。

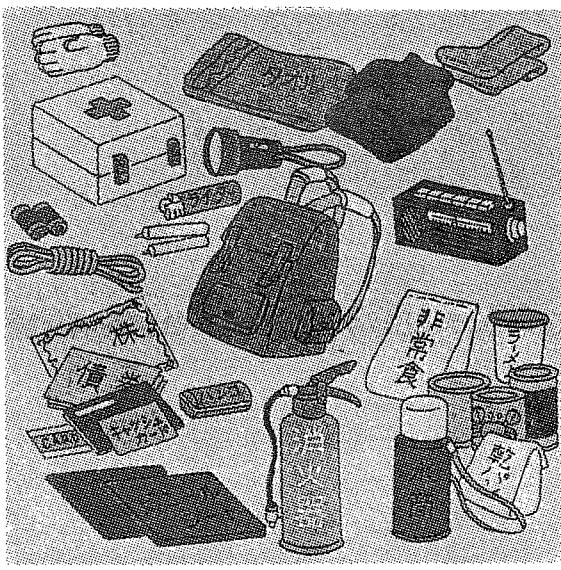
### 東海地震の発生が予想される理由

死者	一一、〇二八人
住宅の被害	一二五、〇八五棟
負傷者	二八八人

※昭和五十三年六月十二日発生の宮城沖地震は震度5でした。

- フトン等を被る、こたつ、つくえの下に潜る。
- 皆で声を掛け合うことが大切。
- 落下物の危険があるのであわてて外に飛び出さない。
- ブレーカーをおとしてから避難する（ガス漏電で出火のおそれ）。
- とても立てる状態ではなく、火を消す余裕もなかつた。
- 車ではまつすぐ走るどころではなく、ブレーキをかけるのが精一杯。

### 『地震がきたら』



非常持出品を準備しておぐ

- 懐中電灯が役立つ（点検と予備電池も欠かさない）。
- カセットボンベは必需品。
- 寝室は二階に、下敷きになるのでタンスなどの物を置かない。
- L字形転倒防止金具は吹っ飛んでいた。
- 普段から実印や重要書類はまとめておく（貸金庫もひとつ）。
- 交通マヒで自転車が機動力發揮。
- 非常持出品は寝室に置く。

### 地域住民の証言

#### 『日頃の備え』

#### 『避難・脱出』

- ドアが壊れて開かないの窓から逃げた。
- 金槌で玄関を壊した、金槌はその後も役立つていてる。
- 屋根の梁を持ち上げるのに車用のジャッキが非常に役立つた。
- 必要なもの近所で融通しあつた（頼るべきは「ご近所」と痛感した）。
- 自分の命は自分で守らなければならぬことを肌身で感じた。

### 警戒宣言が発表されたらこうしよう

#### 警戒宣言とは

現在、駿河湾（静岡県）を震源地とする東海地震の発生が心配されています。警戒宣言とは、この東海地震の発生に先立つて、内閣総理大臣がテレビ・ラジオなどを通じて、國民に呼びかけることを警戒宣言と言つております。

『間もなく（二～三日以内又は数時間以内に）地震が発生します！それぞれの立場で防災の準備をして下さい』

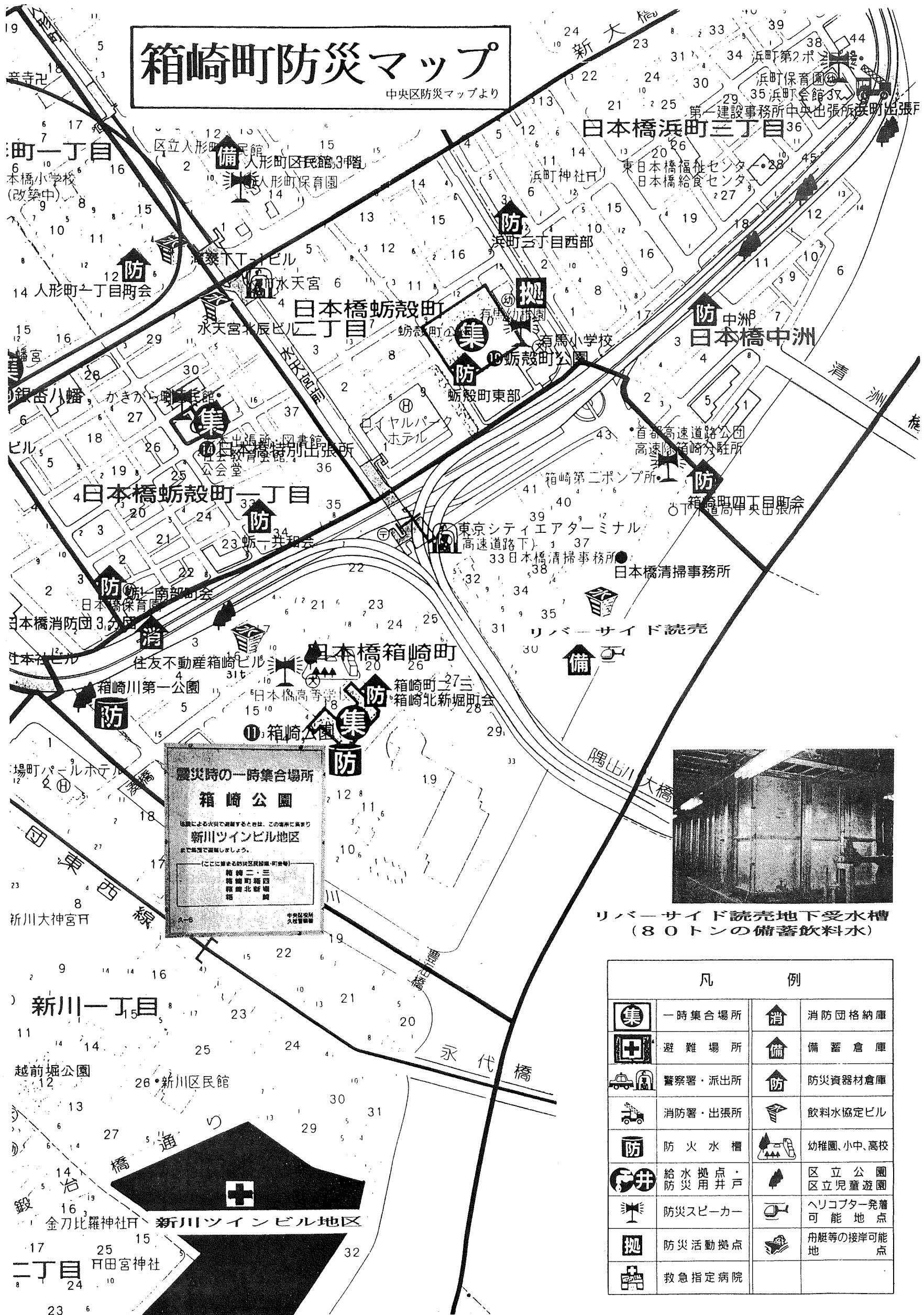
これは、今のところ規模の大きい（マグニチュード8程度）東海地震に限られていて、その他の地震については予知が困難とされていますので、「ある日突然」地震が発生するということも考えておかなければなりません。

### 東海地震が発生した場合

東海地震が発生しますと、東海地方（神奈川・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知などの各県）では震度6以上と予想されています。東京は、東海地方に隣接しているため、震度5（強震）程度のゆれが予想されます。

# 箱崎町防災マップ

中央区防災マップより



## リバーサイド読売地下受水槽 (80トンの備蓄飲料水)

凡 例	
	一時集合場所
	避難場所
	警察署・派出所
	消防署・出張所
	防火水槽
	給水栓点・ 防災用井戸
	防災スピーカー
	防災活動拠点
	救急指定病院
	消防団格納庫
	備蓄倉庫
	防災資器材倉庫
	飲料水協定ビル
	幼稚園・小中・高校
	区立公園 区立児童遊園
	ヘリコプター発着 可能地
	舟艇等の接岸可能 地